

平成27年度

高齢社会 フォーラム

in 東京

挑戦するシニアが時代を開く
— 多世代が支えあう地域社会に向けて —

日時

平成27年7月31日(金)

10:00～15:30(9:30開場)

会場

イイノカンファレンスセンター

(定員:200名)

in TOKYO

主催:内閣府 後援:文部科学省、厚生労働省
協力:高齢社会NGO連携協議会(高連協)

注:日時・会場に比して 主催:内閣府 の記載文字があまりにも小さい。

開催にあたって

国連が、「高齢者の自立、自己実現、参加、ケア、尊厳」(五原則)を提唱し、全ての世代のための社会づくりを目指し、1999年を「国際高齢者年」と定めたことを機に、「高齢社会研究セミナー」を毎年開催してまいりました。現在は、名称を「高齢社会フォーラム」として、東京及び地方の都市で開催しています。

65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合を高齢化率といいます。我が国の高齢化率は、平成26年度には26.0%となり、世界に例を見ない速度で上昇しています。65歳以上人口が年少人口(0～14歳)の2倍を超え、8人に1人が75歳以上となっている我が国においては、意欲と能力のある高齢者がその知識と経験を最大限生かし、社会の重要な支え手、担い手として活躍できる、全世代で支え合える社会を構築することが必要です。

今年度のフォーラムは、多様な分野で活動されている方々が一堂に会し、多世代が支え合う地域社会の実現に向けて、高齢者が活躍の場を更に広げ、新しい分野にも果敢に挑戦するための具体的な取組や手法についての情報交換や議論をすることとなっています。

フォーラムに参加される皆様が、自らの経験と能力を存分に発揮され、より一層活躍の場を広げる一助となれば幸いです。

平成27年7月31日

内閣府政策統括官
(共生社会政策担当)

注：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）は武川光夫氏。

国連五原則は「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」の順が一般的。

プログラム

平成27年度
高齡社会
フォーラム
in 東京

午前の部 会場：RoomA1・A2・A3	
9:30	受付開始
10:00	開会挨拶 内閣府
10:10	基調講演 「シニアが主役 地域創生 — 出かける、出会う、何かできる —」 樋口 恵子 高齡社会をよくする女性の会 理事長
11:10	高齡社会対策説明 内閣府高齡社会対策担当参事官
11:30	休憩(60分)
午後の部 (会場:分科会別)	
12:30	分科会
第1 分科会	高齡者(シニア)が核となる 地域創生に向けて コーディネーター 川瀬 健介 高齡社会NGO連携協議会 理事 NPO法人 生活・福祉環境づくり21 参与 パネリスト 鈴木 隆雄 国立長寿医療研究センター 理事長(総長)特任補佐 桜美林大学 加齢・発達研究所長 大学院教授 「健康寿命」、「地域包括システムの考え方」などについて研究を 続けている。 澤登 信子 株式会社ライフカルチャーセンター 代表取締役 長年のご経験から、高齡者が地域に軟着陸できる 仕組み作りなどで活躍中。 鷺尾 公子 認定NPO法人ぐるーぷ藤 理事長 福祉豊かな暮らしづくりを目指して長年活動。 様々な活動事例を紹介。
第2 分科会	失敗しないセカンドキャリア デビュー ～人生二期作・二毛作 コーディネーター 松田 智生 株式会社 三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター 主席研究員・チーフプロデューサー パネリスト 臼井 清 情報機器メーカーでアジア・欧州の海外駐在を経て 志事創業社をシニア起業し独立。 中村 昌子 航空会社早期退職後、復員支援活動やシニア変身講座などを企画、 学び直しと再チャレンジ中の現役大学院生。 栗原 邦夫 飲料会社の執行役員から早期退職。 長崎国際大学の地域連携室長として活動開始。 黒笹 慈幾 出版会社でコミック「釣りバカ日誌」の編集担当。 県庁や地元企業のアドバイザーとして活躍中。
第3 分科会	次世代を育むジジと ババの力 コーディネーター 澤岡 詩野 公益財団法人 ダイア高齡社会研究財団 主任研究員 パネリスト 朝山 あつこ 特定非営利活動法人 キーパーソン21 代表理事 子どもの貧困を解消すべく、シニアの力を活用した 学習支援や居場所づくりに取り組む。 桑原 静 シゴトラボ合同会社／BABARA 代表 バババの経験や視点を生かした孫育てグッズの開発、 孫育て講座の開催などに取り組む。 竹内 俊晴 わくわく農園 チーム・グランバ 代表 農にに関心を持つシニアがわくわく農園の活動を介し、 地元の小学生の農育・食育に取り組む。
15:30	閉会(分科会終了)

午前には樋口恵子氏の基調講演。午後は3分科会に分かれて意見交換がおこなわれた。第2分科会では人生二期作・二毛作のセカンドキャリアの実体験が語られた。(堀内が参加)

開催挨拶

ROOM : A1・A2・A3

主催挨拶

内閣府大臣官房審議官

小野田 壮

基調講演

「シニアが主役 地域創生 — 出かける、出会う、何かできる —」

樋口 恵子

高齢社会をよくする女性の会 理事長



プロフィール

評論家。高齢社会NGO連携協議会共同代表。高齢社会をよくする女性の会理事長。東京家政大学名誉教授・同大学女性未来研究所長。社会保障審議会、男女共同参画会議民間議員等を歴任。著書は、「祖母力」、「女、一生の働き方」、「私の古い構え」、「人生100年女と男の花ごよみ」、「人生100年時代への船出」、「おひとりシニアのよろず人生相談」等。

高齢化社会対策説明

内閣府高齢社会対策担当参事官

藤澤 美穂

- 高齢化の状況
- 高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向
- 高齢者の地域社会への参加に関する意識
- 高齢社会対策の実施の状況

注：樋口恵子氏の講演は別項で紹介しています。藤澤美穂参事官（高齢社会対策担当）が「高齢社会対策説明」に用いた「高齢社会白書」は別項で取り上げています。

第1分科会

ROOM : A1・A2・A3

「高齢者(シニア)が核となる地域創生に向けて」

- 皆で支えあう“いきいき高齢社会”づくりを高齢者(シニア)がリードしていく仕組みとは？
- 高齢者の活動は健康寿命の延伸に効果あり!? また、期待される“団塊の世代”の意識とは？



コーディネーター

川瀬 健介

高齢社会NGO連携協議会 理事
NPO法人 生活・福祉環境づくり21 参与

パネリスト

- 鈴木 隆雄** 国立長寿医療研究センター 理事長(総長) 特任補佐
桜美林大学 加齢・発達研究所長 大学院教授
「健康寿命」、「地域包括システムの考え方」などについて研究を
続けている。
- 澤登 信子** 株式会社ライフカルチャーセンター 代表取締役
長年のご経験から、高齢者が地域に軟着陸できる仕組み作りなどで
活躍中。
- 鷲尾 公子** 認定NPO法人ぐるーぷ藤 理事長
福祉豊かな藤沢のまちづくりを目指して長年活動。
様々な活動事例を紹介。

MEMO

第2分科会

ROOM : B3

「失敗しないセカンドキャリアデビュー」～人生二期作・二毛作

- シニアが輝くための「失敗しない地域デビュー心得」とは？
- 同じ分野で輝く人生二期作・違う分野で輝く人生二毛作とは？



コーディネーター

松田 智生

株式会社 三菱総合研究所
プラチナ社会研究センター
主席研究員・チーフプロデューサー

パネリスト

臼井 清

情報機器メーカーでアジア・欧州の海外駐在を経て
志事創業社をシニア起業し独立。

中村 昌子

航空会社早期退職後、復興支援活動やシニア変身講座などを企画、
学び直しと再チャレンジ中の現役大学院生。

栗原 邦夫

飲料会社の執行役員から早期退職。
長崎国際大学の地域連携室長として活動開始。

黒笹 慈幾

出版会社でコミック「釣りバカ日誌」の編集担当。
県庁や地元企業のアドバイザーとして活躍中。

MEMO

セカンドキャリア・デビューする人に人気があるのは、成長力が高く、双方向のことばのキャッチボールができる人、感謝・ねぎらいのことばがいえる人、カジュアル・ファッションの似合う人、挑戦しつづけ、人生を謳歌する人。自分な好きなことに集中している人。

第3分科会

ROOM : C

「次世代を育むジジとババの力」

- 子どもの未来を創りあげる為に地域の大人(シニア)に期待される役割とは?
- 地域全体のジジとババとして、経験や得意を生かして孫育てに取り組むには?



コーディネーター

澤岡 詩野

公益財団法人 ダイア高齢社会研究財団 主任研究員

パネリスト

- | | |
|---------------|---|
| 朝山 あつこ | 特定非営利活動法人 キーパーソン21 代表理事
子どもの貧困を解消すべく、シニアの力を活用した学習支援や居場所づくりに取り組む。 |
| 桑原 静 | シゴトラボ合同会社／BABAラボ 代表
バババの経験や視点を生かした孫育てグッズの開発、孫育て講座の開催などに取り組む。 |
| 竹内 俊晴 | わくわく農園 チーム・グランパ 代表
農に関心を持つシニアがわくわく農園の活動を介し、地元の小学生の農食育に取り組む。 |

MEMO